



和名集并異名製劑記卷之下

也

益母草 和名スレキク升 異名カ

蔚子ノ下ニ註ス五月五日ニ採

陰乾ニメ銅鐵ヲイム木ノ藥研ニ

テラロス又ハ日ニ乾少レ焙リテモ

用テ或ハ黒燒ニメ産後ノ血暈ニ

童便ニテ與フ

益智子 唐ヨリ來ル也上皮ヲ去

碎テ少レ炒布ニ包ニテニ培ラ

取テ研テ使フ

揚梅 和名ヤシモノ事也五月ニ取

射干 一名ハ烏扇。一名ハ烏蒲。一

名ハ烏翳。一名ハ烏啞。一名草姜





和名 カラスアキトイフ幹ノ根也
 イチハツニ似テ黄色十九花ノ川
 谷田野ニ生ス。三月三日ニ根ヲ採
 テ土氣ヲ洗ヒ蘆頭ヲ去リ日ニ乾
 糲ヲ浸シ坐シ又日ニ干スル

麻黄 一名卑樹 一名龍沙 一名ハ
 卑鹽 和名カシ子カカアノ子
 ニ搗テ陰乾ニスル製法ハ白水浸
 シ洗ヒ上テ銅刀ニ節ヲ去リ坐
 水ニテ煮テ竹ヘラヲ以テ上ノ沫ヲ
 去リ盡シ漉出レ日ニ乾焙リ用
 ヲ沫モレ盡サテ服スト人ヲレテ
 悶セト

蔓荊子 和名ハヒバツキトモ
 ヲ濱ニ生ス近江ノ國ナトニモア
 リ葉ハハキノ葉ニ似テツク和
 ラカニシウラハ霜ノ降タル様ニウス
 白シ紫色ノ花サケツルニ似テツク
 モナレ九月ニ實ヲ取テ酒ニシテ蒸
 テ乾シ使フ

萬木龍 千ノ軒也蒸湯浸シ
 上皮ヲコソケ去テ銅刀ニシラウク
 坐シ木藥研ニシレメリノ内ニラズ
 サナケレハ研ケカヌル者也又サメニ
 テツロレモスル



卷栢 日本ニ出セバト云ル名ハ

萬歲 名ハ豹足名負未股一

名ハ交時五月七月ニ採テ陰乾

ニシテ製ニ炒テ使フ

假蘇 一名荊芥穗葉ノニ使

三月三日ニ種ラミイテ七八月ニ成

ノリテ實熟スル時ニ取テ陰乾ス

荊瀝 荊芥ノ上ニ九葉ノモニ其

汁ヲ煎藥ノ中ニ入レテ葉ニキ

時ハ荊芥ノ葉ヲ藥種ノ中ニ入レ

雞蕪 薄荷ノ香ノヨキヲ云ラ香

ノキハハツカト云ラ

雞腸草 公ニ事也

雞冠子 ケイトウケノ實也炒テ

時又雞冠花ケイトウゲノ花

也キサニ炙ル

玄參 一名重臺一名鹿腸一名

正馬一名負端一名端三四月ニ根

ヲ取テ暴干ス日本木角ノ山中ニ

アリト云ス採得テ土氣ヲ去蒸

テ日ニ曬干ス唐書ニ來ルハ肉堅ク

黒キ者佳也製ニ用ユ

玄胡索 本名延胡索也其ニ

キサニ使フ

决明子 日本ニハカウ草ト云草

ノ實也十月十日ニ取テ陰乾ス

其ニ碎テ用ユ

雜香 日本ニナレシトシテ火

ヲ忌ムニ説ニ日本ノ桃ノヤニナリト

云フ未審カナラス代藥ニ使事

アル歟

樹枝 内桂ノ枝ノカワ也 上皮ヲ

削リキセ用ニ灰ライム

牙皂角 又指牙皂角トモニ指ノ

牙ニ似タル故ニ云又皂莢トモ

云ス日本ニテハサイカレト云フ

木ノ實也九月ニトル中ノツル

ト。芋トシテ去テ銅刀ニテ細ニ割リ

日ニ乾シタリ用ユ

雞頭實 日本ニハウミラキノ實

也上カワヲ去テ炒ル

不

附子 八月上旬ニトル解ニ熱灰ニ

ニテ炮シ過ス事ナカレ雷公カ云

ヨク使フニハ觔九者ヲ用ユトル

陳カ云ク公角ナレ冬月ニ採ラ附

子トシ春トシラ鳥頭トス文武

ノ火ノ中ニテ炮シ皮臍ヲ去ニ年

サニ用ユ

淨萍 水萍ノ事ナリ水萍ノ下

ニ具ニ記ス

淨麥 コムキノカス也炒ル

蕪夷仁 一名ハ蕪蕪三月ニ實ク

採テ陰乾ニス少シ炒テ用ユ。唐

本ノ注ニ云ク爾雅ニ云ク一名ハ

藜蘆シラカサ今藜藿ト各クハ字ノ誤リ也

覆盆子フクホシ日本イナノ事ナリ蓬

藟ルイト同シ物異各ト云但蓬藟

ハ根ナリ覆盆實ナリ孟詵力

云ク覆盆子味ハ酸五月ニ麥

甲ノ中ニ於テ得ル

茯苓フクコ大山ナトノ大松ノ根ニ生ス

二月ニ取テ陰乾ニス黒キ皮ヲテ

ツリ去リニキサニ細ク水入テ淨ク

物ヲ捨テ日ニ干シ炒ル用ユ

茯苓フクコ是玉松ノ根ニアル但シ茯苓

ハ根實キテアル製法ハ茯苓ト

五味子ゴウジ一名會及一名玄及日

本三人サ子カツノ實也八月ニ

實ヲ採テ陰乾ニス鹿皮ヲ去酒

ニ浸シ蒸テ又日ニ干シテ研ス

鐵テツ一名

胡黃連コウワウレン一名割狐日本ニテハタ

ク多ク用テ採ニ時ナレトナリ然

トモ七月ニ花サク八月ニ取也其

一使フ唐ヨリ來ル物ノ根ナリ

地黃ヂワウ如クテ味ハ苦シ

虎杖根コウサツ一名苦杖日本ニテハイ

タリノ根也圖經曰ク虎杖ニ

名枯杖ト云フ今處々ニ是

アリ三月ニ苗生テ生竹ノ子ノ狀
ノ如クニスルニ赤班ノ點アリ初テ
生スルニ便チ枝ヲ分ク葉少ク杏
ノ葉ニ似タリ七月ニ花ヒラク九月
ニ實ヲ結之八月ニ根ヲ取テ百
二千

葫蘆巴 圖經ニ曰ク春苗ヲ生

夏實ヲ結テサヤヲテ秋ニ至

テ取テイリ未ク用テ下也

胡桃實 久シノ事

呉茱萸 一名ハ藪日本ニモアリ

九月九日ニ採テ陰乾ニス凡使

ニ其ニ湯入テ能洗ヒテ汁ヲス

ス事七度ノ核ヲ去日ニホシ炒

雷公方傳云葉核并ニ雜物ヲ
去テ鹽水ニテ洗フ事百度ノ日
ニホシ茱萸十兩ニ鹽二兩ヲ用
テ研末ノ東流水ニテ投シ用テ天
ニ効アリ

穀精草 二三月ニ穀ヲ田中ニ於

テ取ルニ名ハ戴星草花白クソ

少シ圓ク星ニ似タリ故ニ此名アリ

ルニ時華子カニク饑タル馬ニ

飼テ肥圖經ニ曰ク今處々ニ是アリ

リ春穀ヲ田中ニ生ス葉乾俱ニ

靑ク根華并ニ白シニ三月ノ内ニ

花ヲトシテ用テ又一種アリ莖梗

長ク節アリ根微シ赤シ古方

稀^シ用^ユ今^{イマ}齒^ノ藥^ニ多^ク是^レ使^ス
陳^{チン}藏^{ザウ}器^キカ^ク味^ハ辛^ク平^バ馬^ノ
藥^ニ入^ル用^ニ花^白葉^細ナリ
牛^ゴ膝^ニ一名^ハ百^倍日本^イムツ^チト
云^フ草^ノ根^也二^八月^ニ根^ヲ取^テ
陰^カ乾^ニ土^チ氣^ヲ洗^ヒ蘆^頭ヲ^去リ
日^ニ干^酒浸^シ又^日ニ^ホ焙^リ厚^ク
厚^ク朴^{一名}厚^皮一名^ハ赤^朴一名^ハ
淡^白日本^ボツ^ノ木^ノ皮^也三^九月^ニ
二^皮ヲ^トツ^テ陰^乾ニ^スイ^カモ^厚ク
用^ユ白^水ニ^一夜^ト上^カツ^ク削^リ
去^テス^ク坐^三熱^湯浸^シ子^分
ツ^モ三^洗生^薑ノ^汁ニ^タレ^日ニ^テ
能^ク炒^テシ^用番^分云^ク紫

色^ハ味^ハ辛^キヲ^好ト^ス丸^散ニ
八^鹿皮^ヲ去^テ醋^ヲ用^テ製^シテ
不^リ遊^シ使^ス湯^藥ニ^生姜^ノ自^然
然^汁ニ^タレ^炎リ^用ユ
枯^礬明^礬ノ^燒タル^ヲ云^フ
胡^桐淚^胡桐^木ト^云木^ノヤ^ニナ^リ
其^葉初^メテ^生ス^ル事^柳ノ^葉似^似
タ^リ漸^ク大^ニテ^六則^チ乘^桐ナ^トニ
似^タリ^其津^液地^中ニ^入テ^大石^ニ
相^著ク^又月^ニ掬^ル狀^ニ黄^礬若^姜
石^ノ如^シ味^ハ極^メテ^鹹ク^苦シ^此
藥^リヲ^水ニ^入テ^見レ^即消^テナ^レ
胡^椒海^藥ニ^ク陰^ニ向^フ者^ヲ葉^ニ
澄^茄ト^云陽^ニ向^フ者^ヲ胡^椒

云ラ用シテツキ碎キ粉トナス

五倍子 一名文蛤 一名八百歲蟲 一名

日本ヌルテノ木ノ實也即チクノ

事ナリ九月ニ採テ陰乾ニス内ニ蟲

ク多シ餘ハライ捨テ細ニ用ユ

胡椒 酒ニタシ九度ムヒテ其後炒

テ使フ烏麻ト云フ黒ゴノ事

殺羊角 良譚云ク大ニナルツツノ

角ナリツノモ太キナリ紙羊角トハ

男ヒツツノ角也ト此説未審ナラス

一説ニヤギツノ角ナリト云フサメテ

シロト使フ

蜈蚣 合カテノ事ナリ雷公カニテ千

足ノ虫ヲ用テナカレト頭上ニ白

アリ面并ニ甯小尖ル也若誤テ

用ハ腥臭ノ氣頂ニ入テ死ヲ致

ス柳ノ木ニサレハサニ土器ノ中ニ

テイルネ焦レ黒色ニナリテ後木

ヲ去竹刀ニテ足ト申ヲ去テ用ユ

一説ニ酒ニ一夜浸メ到ニ炙ルト

云フガニヨル

虎骨 并虎肉微火ノ上ニ焙リ乾

レ搗テ粉トナシテ衆藥ノ内

ニ入用ユナリ

虎脛骨 虎ノ手足ノ骨也ト云フ

醋ニヒタシ火ノ上ニ直ニヤキ使フ

牛黄 雷公カ論ニ四件アリ其第

一ニ牛ノ角ノ間ニアリ是ヲサキ

〆ツテ其黄濃ヲトツテ便チ水
 中ニ收メ採ラヌ其ヲ使フトアリ或
 證ニ牛ニ人參ヲ飼テ天日ニ向テ
 其ヲタラウケテ百日陰乾ニシ
 用ユトナリ日本ニテハ採事ナシ
 唐ヨリ來ルヲ其マニ研テ使フ
 骨碎補 一名石菴蘭 一名骨
 碎布 雷公丸云ク凡採得テ銅
 刀ヲ用テ上ノ殼赤ノ毛ヲ削リ
 盡ソ細ニ切テ酒ニ拌セウルホサレ
 ステ柳甑ニテ蒸ス事一日ノ後
 暴乾ノ用又蜜ニカキテ蒸
 事モアリ
 紅藍花 一名黃藍即チ紅花也

日本ノベニ華ノ軒ナリ炒テ用
 ヌ又生ニテモ用ルモアリ實モイ
 ツテ使フ産後ノ中風煩渴ニ用
 ルガアリ
 紅糟 ベニカスノ事也
 牛房子 一名鼠粘子 一名大カ子
 少シ炒テラロス
 黧參 玄參ノ事ナリ
 黧衣 ウズリニタリタルノ事
 黒錫 ク早リノ事ナリ
 天門冬 天 一名天門冬 日本ニ萱中
 ノ根也ト云テ藥屋ニ皆是ヲ
 賣ト見ヘタリ是ニテハアルニキ也

天門冬ハ草ノ子モ葉モ別ナリ
本草ヲ見レハ知ル間記スニ及ス
二三七八月ニ根ヲ採テ暴乾又
云白水ニ浸レテ去氣ヲ洗ヒ四ツニサ
イテ心ヲ去リ蒸テ日ニ于アクリ
用ユ

羝羊角 千イ其勢ヒツジ也上角
モ千イサレ色モ殺羊角トハ別也

ヤリニテラ口ト使フ

葶藶 一名ハ葶藶一名ハ葶藶音カク
一名ハ大室一名ハ大適日本ヲト
コツチノ實ノフ也平澤及田
野ニ多ク生ス立夏ノ後實ヲ採
テ陰乾ニス命ハ公方云ク凡使テ赤

鬚子ヲ用テナカレ真ニ葶藶
子ニ相似タリ製スルニ糯米ト相
合シ焙シ米熟ス多待テ米ヲ去
單ニ搗テ用テ説ニ紙ヲ鑄ニキ
テ炒テ用ユト

天南星 日本ニモアル葉ニシヤクイ

モノハ似タリ二月ニ取ル圖經ニ
云ク二月ニ苗ヲ生スルニ莖荷ノ
梗ニ似タリ莖高キ事一尺分リ
末ニ葉アリ兩枝相抱テ生ス五
月ニ花サク黄色ナリ七月ニ實ヲ
結テ穗ヲナス石榴子ニ似テ紅
色アリ根芋ニ似テ圓シ二月三
根ヲトル能ク蒟蒻ノ根ト相

類ス人多ク悞テ是ヲトルハナシ 蒟蒻
クキ ハ莖ニダラシメ花紫色也コニシ マ
イモク也一説ニ 天南星本其所
説ノ如ク即チ 鬼掌也小ナル者
ヲ由 跋ト爲ス後人 採用テ即チ
一名ヲタルニ 南星毒アル故ニ
生薑ニ製ス又炮ノ製用ユ
天花粉 カラスウリノ根ノ事ナリ
ツキ碎キ水ニイサセテウハズヲ
捨テ日ニ干炙リ用ユ
天仙藤 日本ニ生木香ノ近
飯ノ上ニ置ハレテ 炙リ用ユ
天麻 其ノ坐ニ 炙テ用ユ瘡疹ニ
モ其ミ使フ也方ニ依テ紙ニ

三酒ヲ 文ニ 用ユ
天雄 ウイノ皮尖ヲ 去キ細
ニ 用ユ
釣藤鈎 ツル也日本ニモ紀 列ニ
アリト云フ



阿魏 雷ハ 公ハ 論ニ先淨鉢ノ 中
ニ 入テ 研テ 熱酒ニ 製シ 藥
ノ中ニ入レ 用ユト 又云コ 公キ ノ粉ニ
スリ合セニ 大サニ 錢ホト ニシ
能炙リ共 其ニ 使ス 爲
モチノ如クニ 鹿ノ 茸物 也又
ナヅナノ實ノヤウニ ツクク ト
カタリタルアリ香モト 是最

佳ナリ製スル事ハ前ニ同ク文酢

ニテ煮ホシテ使フトモ云ラ

阿煎藥 百藥煎上ニ同火ヲ息

安息香 卒ト研テ砂石ヲ去テ

酒ニテ煮布ニテニ共砂ハ布ニ

留ル安息ハ酒トシテトシラ

也其後又煉テ使フ

阿膠 日本ニ云ニカワノ事也本

草ニ云ク乾牛皮ヲ用テ作之ト

アリ唐ヨリ來ル細ニ割ニ炒テ用

酸棗仁 日本ニ云ナラシクニ實

也ト八月ニ實ヲ採テ陰乾ニ

即酸棗ノ葉ヲ節ニシキ半日

ガリ蒸テ尖ヲ去テ日ニホ

ヲ名レ用

栲 一名食臑クワノ木

枝ニ生ツケタルカキリノ子ナリ

三三月ニ採テ鐵ノ中ニテ熬テ

用ニ餘ノ木ニ毛アレトモ不用藥

ニルニナシ

栲 一名八栲菌一名八木麥

クワノ木ノ多クシラ也坐ニ灸テ用

今藥屋ニ栲寄生ト云テ賣

八栲ニト是ハタリ

栲白皮 クワノ木ノ根ノカワ也去

中ニ深ク入テ東ヘサレタル根皮

尤ニ佳ナリ去氣ヲ洗ヒ上ノ黄

十九皮ヲケリ去テ白キ處ヲ取
テ割ニ焙テ用キ上ニ出タ銀
ノカワヲ用テカラス人ヲロストア
リ鐵氣ヲ忌クワノ葉ハ蝦蟇ノ
毒ヲ解ス

サト寄生 多ノ科ノヤトリ木ノ事
也對ニ灸テ用テ代藥ニ外摩
用上又ハ桑茸ヲモ上皮ヲサ
使ラト也

蒼耳 日本ニ云オトモニ事ナリ
實ヲ使テ六炒リ焦ノ用
紙ノ事ナリ灸テ對ニ使
犀角 口リテミルハ方トモニサ

イタメアラハハツツノ角ト知レ鳥集

酸榴皮 スシヤクノ實ノカワ也白

柴胡 一名ハ山菜 一名ハ茄草葉 一

名ハ芸蒿 日本ニ云カネモシヤト

云草ノ根也ト又野カンタウトモ

云フ華白クウスアカキハ是白柴

胡ナリ又河原柴胡ト云黄色

ナル華サキテ根紫色ナリ河原

ニ多クアル物也在リト云ナリ蘆

頭ヲ去リ白水ニモタシ土氣ヲ洗

キサ三日ニ乾用ユ火ヲ忌ム

皂角刺 サイカミノハリ也炒

使ノ升皂角ゲノ字ノ處ニ具ニ記ス

山慈菘 一ニシユレヤケノ根也ホウ

ツキノ根ヲ使フ人モアリ本草ニ

云ク葉ハ車前ニ似タリ根ハ慈菘

ノ如シトアリ然ル則ニシユレヤケ

ニテモナキカ審ナラス

酸漿草 順ノ和名ニ云ク兼名死ニ

云酸漿一名公洛神珠 和名保命

山梔子 日本ニ云ククナレノ事也

仁ハ心胸ノ熱ヲサリ皮ハ表ノ熱ヲ

去ル蘆頭ヲ去テ坐三燻ル又ハ酒

ニテ子ガリヲ洗ヒ焙テ日ニ乾ク使

晋公カ云願大ナル者ヲ用ル事ナカ

號ノ伏尸ト云 梔子ニカナル雀

ノ如クノ鬚長ク赤色トルヲ上トス

山茱萸 一名蜀葵 一名八維尼

名ハ魁實核ヲ去リ炒テ用テ代

藥ニ日本ノ大トロクニシテ聚ノ如

ニ蒸テ核ノ中ノ實ヲ去テ使フ

ト云フ説アリ

草烏頭 炮ノ皮ヲ去テ製ム

細辛 一名小辛 日本ニアルハ葉

タウノイモノ葉ニ似テ小ク葉紫

色ナリ根一本ヨリ三葉四葉ツ

出ル也葉ノ内ニ少クモ文アリ二八

月ニ根ヲ搯テ陰乾ニス土氣ヲ洗

芦頭ヲ去テ白水ニ一夜ヒタシ

用ユ

蒼朮

日本ニ云オケラノ事ナリ若

根ヲ蒼朮木ト云古根ヲ白朮ト云

但レ時月ニヨルキカニ三月ニ採

ラ蒼朮ト云ハ九月ニ取

ト云フカ製法ハ白朮ノ下ニ記ス

山藥 日本ニ云ヤマノイモノ事也冬

彫ニ採蒸レ乾テ用ニ具ニ薯蕷ノ

下ニ記ス

山柰肉 麴ヨリ來ル也スル湯ニタシ

子ヲ去テ肉ヲトリテ用ユ

山葵子 ヲサセノ實也炒テ用ユ

草豆寇 唐ヨリ來ル也草藨ノ皮

ニ似テ中ノ實ハ縮砂ヨリ小ニ
大キナリ布ニ包ニ毛ニ三石アカヲ取
テ炒テヲロス

京三稜 一名ハ削堅中尉日本ス

ケノ根也根ヲトツテ土氣ヲ洗ヒ
毛ヲ去リ醋ニテ煮テ坐三日ニ

ホレ灸リ用ユ

金沸草 セシク花クも也未詳

薑黃 莖迷ノ中ニアリ若根ノ細ヲ

羨黃ト云フ其次ヲ鬱金ト云ヒ

古根ヲ莖木ト云フ何モ一類也

葉青緑ニテ長キ事一二尺ハカ

リ瀾キフ三四寸斜ニ文アリ花

紅白也ナリ取ニ時ナレト又云八
月ニ根ヲトリ片ニ切テ暴レ干レ

炒テ用ユ

桔梗 一名ハ利女一名ハ房圓一

名ハ白藥一名ハ梗草日本ニ多

クマリ二八月ニ根ヲ取テ暴乾ス

土氣ヲ洗ヒ白水ニ一宿シ蘆頭

ヲ去リ對三日ニ乾アフリ用ユ

枳殼 和名カラタチノ木ノ實也

キコクト枳實ト同物ナリ但キ

シツハ小ク青キ時ニ採ギコク熟

シ是ヲ取ナリ凡製スルヲ白水ニ

夕ニ裏ノ核ト幕トヲ去テ對三小

麥ノアヲ皮ニカキニ世モ三合世炒テ

其後麥ノアヲ皮ヲ煎ステテ只

キレシモ製スル事コレニ同レ

騏驎竭 日本ニテニアラズ馬ノ血ヲ

使フ唐ノ木ノヤニナリ松脂ナト如

ニ木ヨリ流レ出ル液ナリ本草木

部ノ中ニナリ雷公カ云ク凡使ニ

先研テ粉トナテ篩テ使フ衆

藥ト同ノ擲化スナカレ飛テ

塵トナル也

橘核 三カニノサ子也イッテ生

橘紅 陳皮ト同シ

杏仁 和名カネモノ核ノ中ノ也

俗アシストモ云ラ五月ニトル雙仁

ナル者ヲ不用イリテ熱湯ニ浸

皮少去テキサニ用

糞糞 八下ノ屎ナリ

葎草 撫草上ニ同シ川草ノサキ

生出タル者根ノ少キヲ云々製法

八川草ノ下ニアリ

葵子 冬葵子トモ云フトノ字ノ

篇ニアリ

金櫻子 和名コカ子ツル

金开 日本但馬ノ國上野ノ國ニ

アリト金色ノ如シトアリ

龜甲 一名ハ神屋カワ龜ノコウ也

上ニ時ナレ製法ハ龜甲ノ下ニ

アリ

薊花 一名ハ節花一名ハ日精一

名ハ女節一名ハ女華一名ハ女

莖一名ハ更生一名ハ周盛一名ハ

傳延年一名ハ陰成和漢同シ

莖紫色ニシテ氣香シクアマキヲ

用ユクキ青色ニシテ氣モナク味

苦キハ用ユカラス陰乾ニスト

アリ然トモ日ニ干テモ苦シク刀

ラス臍トクキトヲ去又云々製法

花ヲ用ユトナリ九月ニ上ル火ヲ息

アル石也日本ニテハ紀伊國多

クアル也

稀黄草 一名ハ火茶和名メナ

モニト云フ秋黄ク也ナル華サ

ナリ五月五日七月七日九月九日
ニ採テ暴干テ酒ニタシ九
度ハ九度曝テ未トナス
金銀花 スイカツラノ花ナリ陰乾
ニ使フ忍冬ノ下モ記ニテ字
ノ篇ニアリ

油
榆白皮 一名八零榆 和名ニ
村ノ皮ナリ二月ニ皮ヲ採八月

ニ實ヲトルト也製スルニ上ノ
皮ヲ削リ去テ白キ處ヲ削三
用ニ日ニホス

柚核 ユサ子ノ事也イツテ碎キ
カワラ去テ用ユ

硫黄 日本ニモ處々ニアリ水飛
ノ使フ也

明礬 自礬トモ云フスキダウサ
ノ事也日本ニモ飛彈國長門

國肥後國阿蘇ノ社ナトモ
アルト也焼テ使フ也
綿附 ヤハラカナル附子ノ事也

蜜 製法ハミツヲ茶碗ニ入レ沸
湯ノ中ニオイト是ヲ煉ニ上ヘ

沫多ツ物也其沫ヲ去ヘ蜜十
兩ヲ子ツテ八兩ニ至ル度ト下
但レ蜜ニヨルシト也

蜜陀僧 日本ニモアリト云フ金

銀々丸國ニアルト也ルカスト也

其ミ使ノ説アリ又柳ノ木ノ中ニ

スル蟲ヲ採テ蠶ノ足ヲ去。蜜

陀僧ニ交テ東流水ニ夜浸メ

後駈ヲサリ蜜陀僧ヲ乾シ用ユ

研候 一名ハ糊探サレノ事ナリ

師ヲ干テ使フ事アリ

磁石 一名ハ玄石。名ハ處石。日本

ニアリ近江國淺井郡鹽津嶋

ニテ無時コレヲ採ト。又意庵宗

恂ノ白陸奥并ニ備前ノ國ニ有

之製法ハ東流水ヲ以テ煮。事

三晝夜サテ漉出シ拭ヒ乾シ

布ニ裏シ石ノ上ニ置テ打碎

キ細テ乳鉢ニ入レ研テ用ユ

紫石英 赤白紫色ノ三種アリ

土器ニ入レ火ノ中ニ於テヤク燻シ

紫石ニ酢ヲ塗リテヤクナリ又云

焼テ後水ニテ能洗フベシ

赤石脂 日本ニモ太宰府伊豆

國ニアルト也。是モ酢ニ浸シテ

焼テ使フ

辰砂 本名ハ朱砂ナレトモ辰狀

ヲ出ル朱砂佳ナルニ依テ辰ノ

字ヲ置ナリ製法ハ多ケレトモ

冬研テ水飛シ日ニ乾再ヲ乾シテ

中略下

使フ日本ニテヤ朱ヲ誤テ朱

砂ノ代ニ用ユカラス

信石 人言トモ書砥礪ノ事也

秋石 小便所ニ小便ノカタマリタル

ヲ採テ日ニ于テ炙リ使フ

青木香 山近キ野ニ多シタル天

仙藤ト云フ火ヲ忌ム

赤芍藥 一名ハ餘容 一名約食

一名解倉 和漢同シ山中ニアル花

ノカクトヘノヲ用ユ白ハ補ヒ赤キ

瀉スニ八月ニ根ヲ採テ曝乾シ土

氣ヲ洗去テ白水ニヒタシ竹刀ニテ

上皮下井ニ蘆頭ヲ去テ石上ニ

置テ打多キ日ニホシ焙リ用銅

鐵ノイム

紫參 一名牡蒙 一名衆戎 一

名童腸 一名馬行 和名チノ

ハサニ月ニ根ヲルル用ユ

蛇脱皮 日本ニテクチチクキ又

ノ事也鐵ノイム

蛇床子 一名ハ蛇粟 一名蛇卷

一名廼淋 一名ハ思益 一名緇毒

一名桑棘 一名蓄薺 和名ヒ

ルコトノ實ナリ又ハタケゼリ實

ナリトモ云是ハ田野ニ多シ葉ハ

リノ如クニテ高サニ二尺アリ五

月ニ白キ花サキテ苗香ニ似ル

實ニ是ヲ用ヒテ佳ナリ日ニ干

テ煮下ヒヨリ未ノ時ニ至ルサテ焙
乾テ用ト也又云ク炒テ使フ也
花ハ炙テ用ユ

真蘇油 シノ實ノクアラ也此紫蘇

子ヲ少イリ蒸テ油ヲホリ取テ

紫蘇一名ハ陵茗注云即千零陵

華是也トアリ日本ニテハノ多シ

カツタ花ヲ干テ炒テ用ユ花十

クハツラモ葉ヲモ用ユトナリ

菘蔚子 一名ハ益母 一名ハ益明

一名ハ大札 一名ハ真蔚 和名メ

ハシキト云フ草ノ實ナリ九月

ニ採テ暴ニ乾ス鐵ヲ思ハ益

母草トアル其葉ヲ使フ製法

ハヤノ字ノ篇ノ益母草下ニ記ス

商陸 和名セムサウ八月ニ根ヲ採

テ能ク土氣ヲ洗上剉ニ炙ク又云ク

赤ト白トノ藥ハ異ナリ赤キハ

腫氣ヲ消ス白キハ水氣ヲ利ス

紫楮 坐ニテイカニモ紫色色ナリ者

ヨシ火ヲイム

麝香 偽モノ多シ紅ノイ上ニ麝

香ヲ塗テ見テナイ皆ク黄

色ナル者ヨシ又云ク麝香ノ中ニ

大豆ノ様ヲ冬ノタルリ是ヲ名

ツケテ當門子ト云 是尤佳也

使フニ中ニ交リテハルモ去テ

其水破ニ入ヨク研テ藥ニ合ス

縮砂 煨テ多布ニ包ニテカシク

テ用日本ニテ山公トカシク實テ

リト云フ

常山 一名互草日本ニゴクサ

ギト云フ又ハ山アキサイトモ云

八月二根ヲ取テ陰乾ニシ土氣

ヲ洗ヒ日ニ干酒ニ漬シ又日ニ

干テ割ミアス

蜀密 即チ常山ノ葉ナリ日

ニホヒテ割

菖蒲 一名管陽和漢同ト

寸九節十九者ヲ用土ヨリ上

アガル根ヲ露根ト云フ是ヲ用

ニカラス八月十二月二根ヲ採テ

能水ニ浸シ土氣ヲ洗ヒ陰乾ニシ

銅刀ニテ皮毛ヲ削去テ坐三日ニ

干用ニ鐵ヲイム

薯蕷 一名羊三一名山藥和名

山ノモ二八月二根ヲ採テ銅刀ニテ

皮ヲ削リ去テ米ノ粉ヲヌリテ日

ノアタラヌ處ニ置テ風ニテカシク乾

剉ム炒蒸テシキラフ生ニテ乾用

又或説ニ冬月ニ取テ蒸テ暴シ

乾トアリ方ニ依ヘキカ鐵氣ヲ息

神麴 六月六日小麥ノコメモミテ

モミ汁ニテヌテ小麥ノコメモミ

ナレテテイリ用又云ク大磨米ヲ

飯ニ黒豆ヲ炊テ粉ニテ飯ト交

カミシノ如クニ合ノ中ニカミシノ
用ニテ也

龍皮一名童皮三カノ龍キ時ニ

採テ四ノリ中ノ糞ヲ去リテ

脂麻清油 胡麻油

攪腦 和漢同水邊ニ生トク

スノ木ノ根ニ大キカマリテアリト

其ヲ燒テ使フ也七度ヤケ龍腦

ノ香カスル樟腦ヲ天目ニ入リ

以テ天目ヲ蓋テ合ニ口ヲ紙ニ

テ塞キ火ノ上ニ置テヤク上ノ

天目ニツリテカスルヲ取テ使

秦朮 和名トカリ各ガカリ各ニ
八月ニ根ヲ採テ暴ニ乾ス土氣ヲ

洗ヒ蘆頭ヲ去リ坐リ三卒ト焙

秘用方ニ云ク秦朮十久代藥ニ

乾葛ヲ用テ也

紫草 一名公紫花 一名公紫莢ム

ラキノ根ナリ三月ニ根ヲ採テ陰

乾ニ土氣ヲ能洗ヒ其頭ト毛

ヲ去テ對ニ炙ル

紫苔 トサカリノ事也

紫菜 ムラサキノリ也

秦皮 一名石檀 一名岑

皮 和名ト子リト云フ木ノ皮也

二月ニカワヲ取テ陰乾ニ白

二夜ヒタニテ鹿皮ヲ削リ去テ
キサニ炙ル

秦椒 秦州ヨリ出テ蜀椒ハ蜀國

ヨリ出花椒ハ熟シ色ノ赤キヲ

云フ日本ニテハサシセツク云ラ九月

ニ實ラトル

柿蒂 クレキ人々也ヨク洗ヒキ

サニ炙ル

黄 東流水ニテ淘洗フ事三度

ノ水ヲ去テ拭ヒ乾シ臼ノ中ニテ打

多キ研テ篩フ

真珠 公クリ財ノ中ニアル事也

製法ハ將水ニテ者今三晝夜

サテ甘草湯ヲ以テ洗ヒテ臼ノ中ニ

於テ搗クタキ細ニ研レテ用エ

沙参 一名ハ知母一名ハ苦苈一名ハ

志取 一名ハ鹿鬚 一名ハ白參 一

名ハ識羨 一名ハ文布 二八月ニ根

ヲ採テ暴ニ乾スト明ニアリ并ニ

一官云日本ノシル人參ノ事也

ト日本美濃國ニアリ

紫藤 常ノ藤ノク也根ヲ採テ

洗ヒキサニ炙ル

紫苑 一名ハ紫舊 一名ハ青苑 和

ラテレシクサニ三月ニ根ヲ取テ

陰乾ニス芦頭ヲ去キサニ焙ル

紫苑茸 シランノ土ヨリ二三寸生タ

ルトキ取テ乾シ水ヲシテ能洗テ

坐ニ炙ル

赤小豆 アツキノ事ナリ食療本

草ニ云ク鯉魚ト者和ノ食ス大脚
氣ヲ治ス



垣衣 一名ハ昔邪 一名ハ烏韭 一名ハ

垣羸 一名ハ天韭 一名ハ鼠韭 和名

レグクサノコケ雷公カ云古キ垣ノ

カケ或ハ屋ノ上ニ生ス三月三日ニ

取テ陰乾ニス

管實 一名ハ薔薇 一名ハ楮麻 一

名ハ棘 一名ハ牛勒 一名ハ薔麻 一

名ハ山棘ハ九月ニ採テ陰乾ニス雷

公カ云今ノ薔薇也鹿布ヲ以テ

黄毛ヲ拭ヒ去テ細ニ剉ニ敷水ヲ

用ヒ濕テ蒸事一宿ノ日三十用ユ

和名ニ管實ハズラノミトアリ

鹽花 一ホヤク所ニ何ニモ白ク焼付

タル用ユ



檳榔子 中ノクサリタルヲ捨テ如何

ニモ堅ク重キヲ用ユ其ニ剉ニ使

火ヲ忌ム

白檀香 唐ヨリ來ル其ニ剉ニ用ユ

火ヲ忌ム

白及 一名ハ母根 一名ハ連及草 和

カニニク弁

批杷葉 ビソノ葉ノ生ル時ニ葉ニ

技ノ重サ一兩アル者ヲ四月ニ取鹿

布ヲ以テモヲ洗ヒ去リ并ニ筋ヲ

去テ甘草湯ニテ洗ヒ又ワタミテ
拭サテ酢ヲ塗テ炙リ乾シ用ユ
又一説ニ毛筋ヲ去テ其ミ炙リ
乾シ用ユト

葷燈茄 陽ニ向フ者ヲ胡椒ト云ヒ

陰ニ向フ者ヲ葷燈茄ト云ト也胡
椒ノ條下ニモ記ス雷公カク酒

ニ浸シ蒸フ巴ヨリ酉ノ時ニ至リ

サテ杵テ細シメ用ユト也或説ニ

火ヲ忌トアリ

白豆蔻 上皮ヲ去リ卒ト炒テ使

百合 一名八重箱 一名八摩羅 一名

八途花 一名八強瞿 和名 ユリノ葉
大ニ花ノ白キヲ用ユ葉小ニシテ

花ウスアカキハ用ユハカラスニ八月

ニ根ヲ採テ暴シ乾シ薑頭ヲ

去テキサム

百草霜 五月五日ニ色々ノ草ヲ

百種ホト取り集メ黒燒ニスルヲ

白水 一名八山前 一名八山薑 一名八

連 一名八山茶 一名八天蘇 一名八山精

一名八乞カ伽 和名 オケラニ三八九

月ニ採テ暴乾タタ著木ノ條下ニ

モ記ス白木ト著木ト一種ナリ製

法ハ米ノ海ニ浸ス事春秋八三日

夏ハ二日冬ハ四日毎日水ヲカヘテ

ヨリ洗ヒ上ノ黒キ皮ヲ削リ去テ

坐三日二千炒り用

菴麻子 和名タツミカガカハ實

ヨク熟シタル時ニ採ル製法ハ鹽湯

ヲ用テ煮和シ上皮ヲ去實ヲト

リ研テ用ユ葉ハ蒸搗テ脚氣

風腫ノ不仁丸ニ是ヲ付ヨ効アリ

白葵花 鮮アライノ花也坐三焙ル

白高苜蓿子 タウチヤノ實ノ事也

少炒り用

菴麻 日本ニテオトゴノ事也ト

云フ蔓アリ根ハ黄ニ白ク節多華

二三ツカト有テ色アラス山ノ芋ニ

似タリ花ノ黄ナルト白キト種今ア

リ又花ナクノ白キ實ノ子モアリ

又莖ニ刺アル根白ク堅ニ莖ニ刺

ナキハ根ヤハラカナリ軟テ用ユニ

二八月ニ根ヲ採テ暴乾ス又一説ニ

サンキライノ事也トモ云リ

菴麻 醋ニ三夜ヒタラケリ乾ス一

説ニ火ヲ息ト云フ然レ共蘇香圓ナ

トニ合スル時モ炒ルナリ

白斂 一名菴核一名白草一名ハ

白根一名ハ崑崙和名ヤカニニ

一本ニヒヨトリ上戸ニ八月ニ根ヲ採

テ暴乾カス

藤蕪 一名ハ薇蕪一名ハ注離草

菊ノ苗ナリ和名ハ川草ノ條下ニ記

白鮮皮 和名ツクシ或本ニ花ノ

白クサムクダゲノ根ノ皮也上未
詳上ラス白水ニ浸シ黒皮ヲ去キ

サニタスル

百部根 一名樹木又婆娑草上

名ク 和名ホトツルホトツラ俗ク多

ヘクシカツラノ根ナリ土氣ヲ洗ヒ

作刀ニテ魚皮ヲ削リ去テ酒ニ

夜ヒタシ坐ニ焙リ乾シ用ユ

白芷 和名カサモキヨイグサハ

ウド異名ト製法ト公香白芷ノ

條下ニ記ス

全

木通 通草ト一種也即通草下記

木香 一名八蜜香一名五木唐ヨリ來

其マノ製ニ用ユ火ヲ忌 和名サツ

モクサ日本ニ毛幡磨ノ國ニアリ

木賊 和名トクサノ事也四月ニ

採テ陰乾ニシ節ヲ去キサム

木瓜 和名ホケ銅刀ニテ皮ヲ削

ステ核ヲ去日ニ干焙リ用ユ鐵

ヨイム

没藥 其マノ碎キ用ユ

世

前胡 一名西天蔓 和名サタナキ

八月ニ取テ暴ニ乾シ廬頭ヲサリ

土氣ヲ洗ヒキサ日ニ干

仙靈皮 トクノ皮也唐ヲ用

石花 一名八浮石一名海南石カ

イシノ事ナリ

石斛 一名八林^{シシ}一名禁生^{キョウシヨウ}一名石遂^{シキツイ}和名イワタスル

杜蘭 一名石遂^{シキツイ}和名イワタスル

上各ニ似テ白キ花多節ヲ云テ酒ニ浸シ白ニ干スル石生ス

少用^{モチ}木ニ生スルタニ

石葦 一名石韮^{シキツイ}一名石皮^{シキヒ}和名

ヒトツ。イソカシノイワタスイマクニ山中ニ生スル用ニ人聲水聲

聞テ處ニアルタニ二月ニ葉ヲ採テ乾シ少シ焙リ用エ

茜根 一名地血^{チケツ}一名茹蘆^{ジュロ}一名

茅蒐^{モウ}一名舊^{キウ}和名アカ子ニ三月ニ根ヲ採テ暴シ乾ス土氣

ヲ洗ヒ白クニヒタル音頭ヲナリ又草水ニ漬レ銅刀ニ割ニ日ニ干

鐵井ニ鉛ヲイム

川茸 又茸^{キョウ}一名胡^コ一名香果^{カウクワ}和名オナカツラニナカ

ツラ多升唐ヨリ來少用音頭ヲ去リ其ニ割ニ火ヲ忌日本ニマ

リ江州多キ山ナシ上毛リ處ノ俗是ヲウレヤト云ラ三四月採

テ暴シ乾ス

升麻 一名八周麻^{ハシウマ}和名トリクアト

云ノ草ノ根也二八月ニ取土氣ヲ洗ヒ毛ヲ去リ日ニ乾シ坐三用

仙人草^{センジンクサ}クダマノ事也ト云ラ

石榴皮 シロノハ 七クノ實ノ皮也米ノ汁

ニ浸レ日ニ干銅刀ニテキサ三用ユ

石榴根 シロノネ 七クノ木ノ根ノカク也米

汁ニ浸ス

石膏 シヨウコ 一名八細理和名ニライレ日

本ニ毛備中ノ國飛彈ノ國又太

宰府ナトニアト也白クシキ

者佳ナリ自藥ニ黃連ノ煎汁ニ

ミタレ燒テ使テ傷寒ナトニ其ミ

用ユ

石硫黄 シヨウワウ 打クタキ水養ニ草

水ニテ洗ヒ研テ水飛メ使フ

石鍾乳 シヨウシユ 一名公乳一名普石一名

公夏石日本ニ毛佐州カイフニアル

ト也製法ハ右ニ同シ

石牀 シヨウダ 一名乳末一名逆石鍾乳

ノ下ニアル物ナリ

川山甲 カハシ 一名鱗鯉用坐三土器ニ

テ炒テラロシ用ユ

蠟蛻 ロウダ 一名蠟退世ニタケカラ事

也土氣ヲ洗ヒ日ニ乾シ炙リ藥研

ニテラロシ用ユ

辟決明 ヒキケツメイ アラヒカラノ事也打碎キ

フチノ厚キ處ヲ用ユ鹿皮ヲ去

水ニテ洗ヒ淨ム

蟾酥 センソ ヒキカイルノ油也兩ノムカ

ズラノ高キ處ヲ油紙ヲ以テオセ

ハ白色ナルアブラ出ル也ソレヲ

貯へ置テ用ユ

薺危キヤイ 一名六莖危ロクシヤイ 和名サキクサ

三八八ミヤヒヤチ 參又八結梗ハチムスビ 二供タリ葉ハ

異也イナリ 上二八月二根ヲ採アツキ 二自暴乾ス

旋覆花センフクワ 一名六金沸草ロクキンヒヤクサ 一名六戴槌ロクタイチ

名六盛槌ロクシヤクシ 和名スグルムカモノツホ

五月二花ヲ採アツキ 二白オシロイ 二干

石龍芮セキリョウライ 一名六魯果龍ロクロクワリョウ 一名六地槌チ

名六石龍セキリョウ 一名六彭根ホウコン 一名六天豆テンジュ 和

名六ヒタイヒタイ 陶隱居トウインキョ カ云實ノ形チ

葶藶子テイリョクシ 如ニ 黄色オウゴ 二味アジ ヒ少辛

葉ハ 六青紫色アヲシキ 色イロ クキツニ 葉ハ ニツア

リ其葉ハ 二上ウヘ 二刻キ 二多オホク 二五月イツキ 二實ミ 多

採アツキ 二八月イツキ 二皮カ 二取トル 二陰乾カゲホシ 二ス又

唐本注タウホンチュ 三云ミ 俗ソク 方ホウ ケテ水スイ 董トウ 上ウヘ 云

實ミ 柔ニ ノ三ノ如ニ 故コ 地槌チ 一各ナニツ

下濕ゲシツ 地チ 庄シヤウ ス子シ 五月イツキ 二熟ジュク 二粉コ

大オホク 荻ヒ 子シ ノ如ニ 子シ 葉ハ 三味ミ 辛カラ 二

十ジュウ 歲サイ 藥ヤク 一名六蘗ロクノク 無ム 和名ワナ エニ ツラ

トト キキ ノノ 六ロク 葡萄ブドウ 如ニ 知チ ノノ 小コ 糸イト

ミミ トト イイ 笑ウツクシ 圖ズ 經キヤウ 三サン 分ブン 五月イツキ 二華ハ

ヒヒ 三サン 年ネン 七シチ 月ゲツ 二實ミ 三サン 生ナマ 八ハチ 月ゲツ 二採アツキ 青

石龍薔セキリョウキヤウ 一名六龍鬚リョウシュ 一名六草續ソウジツク

薺キヤイ 一名六龍珠リョウシュ 一名六龍花リョウカ 一名六懸

藟ライ 一名六草毒ソウドク 和名ワナ タタ ツツ ヒヒ トト ヲヲ

ノノ 七シチ 月ゲツ 二葉ハ 三サン 取トル 二暴乾ハヤホシ

又根マタネ 六九月ロククヅキ 二取トル 二暴干ハヤホシ

青黛 龍花上三同ノアイロト事
也アイネノ上ニ浮テクハ漆ヲ取
テ日ニ干シ使フ

青箱子 一名草蒿 一名草蒿
和名 クマクマ ママノクサ 三月ニ莖葉

ヲ採ニ陰乾ニ五六月ニ實ヲ取
寸

水銀 一名八汞 和名ニツカ子日本ニテ
ハ伊勢國ニアリ

水銀粉 一名汞粉 一名輕粉 一名
八硝粉 和名ヲヒイノ事也一切

ノ諸血ヲ息
水雲 和名モツク事

水蓼 和名カクテノ事也冬ニ似

テ莖アカシ蛇ニサレ心悶スニ搗
テ是ヲ傳フ又絞テ汁ヲ服ス六
毒氣ヲ消ス

水萍 一名水花 一名水白 一名水
蘇池澤ノ上ニ浮テ生スル草ナリ

葉ハ圓フメウリノ葉ニ似タル三
月ニ取テ日ニ乾ク日ニ用

補遺

金石部

消石 一名芒硝 先研テ火中ニテ
煨再研テ使フ日本ニテノ讚岐

國ニアリ無時採之

芒硝 製法前記ス日本ニテ太宰

府三出ト也

朴硝 一名八硝石村有鹹水陽是

三若狹備中ナトニアリ無時採之

意安宗恂云硝ノ類三皆一物也

陽起石 一名八白石一名八石生一名

韋起石雲母ノ根ナリ

天台石 カニスリドノ事也

礪石 一名八磨石トイヘラライル

魚目青 アライル

風化石 即石灰ナリ

伏龍肝 釜ノ臍ノトナリニ焼テア

鐵漿 ツク口也齒ニ付ルカ子也

草部

防葵 一名八梨蓋一名房慈一名

八箭離一名八農果一名梨茹一名

名八方蓋 和名ヤナスヒノ根也三

月三日ニ根ヲ採テ暴シ乾ス上氣

ヲ洗ヒ白水ニ一夜浸シ坐ニ灸用ユ

阿芙蓉 ナレノ花ヲ子テ未夕實

熟セサル中ニ竹針ヲ以テ上ヨリ刺

ハ白キ汁イヅル也コレヲトリ貯テ

乾使フ

菴藷子 和名ヒヨモキハヨ十月

ニ取テ陰乾ニス

白蒿 和名ノラモキカハラモキ

山谷川澤ニ生ス二月ニトル

天各精 一名八麥句薑 一名八蝦蟇

藍 一名八承首 一名天門精 一名

八玉門精 一名八髮願 一名八蟾蜍

蘭 一名負觀 和名八タカナ川澤

二生ス五月ニトル

滋養薔 一名八剛前 和名ギトリクサ

白薇 一名八白幕 一名八薇草 一名

春草 一名八骨美 和名クワクサ。

三十三コクサ 一説ニ花ノ白キ薔薇

也上云フ三月三日ニ根ヲ取テ

ヲ去白水ニ一夜浸メ剉ニ用ユ

草龍膽 一名八陵海 日本ニハリ

タウト云草ノ根也二八月十二

月ニ根ヲ採テ陰乾ニス土氣ヲ

洗ヒ又陰乾ニ銅刀ニテ剉ニ用ユ

鐵ノイハ白龍膽トハ花ノ白ク

階麗 一名八青苔 アヲノリノ事也

積雪草 一名八連錢草 和名ツホクサ

八九月ニ葉ヲトル

亭根 和名カスミト根

堯花 和名ハニレ六月ニ花ヲ取テ

陰乾ニス

敗蒲席 古キガムシロノ事也

粉草 和名ハニレ六月ニ花ヲ取テ

蛇母 和名ハニレ六月ニ花ヲ取テ

地菘 和名ハニレ六月ニ花ヲ取テ

鹿藿 和名クスハクシ此草ノ實

鹿豆 二俣タリ山谷ニ生ス五六月

白蔘草 和名ミタリクネスウ各

地蕉根 バセノ根ナリ

薺 一名黄草 一名黄 和名

ソクトウソクク田野ニ生ス春夏

ハ葉フトリ秋冬ハ莖根ヲトル

又云春ハ葉花ヲ用ヒ夏秋

冬ハ根ヲ採テ銅ノミテ細カニ

坐ニ用ユト秘ニ云ソクク歟

鳩蒜 アサキノ事也

胡瓜 キウリ也

海蘿 フノリノ事也

昨葉何草 一名瓦松 和名カクヌ

堂上屋上ニ生ス初メテ生スル事

蓬ノ如シ更採テ白ニ陵

敗船茹 フ子ノアカ也

船底苔 フ子ノユノユケナリ

醜酬汁 イチコノニル

蒲公草 一名攝報草 和名タン

ホ、四五月ニ取ル

故魚網 古キウラノアミ也

木部

五加皮 一名公我漆 一名我節 一

名公我魁 和名ウキノ根ノ皮ナ

リ十月ニ取テ白水ニ浸レ土氣

ヲ洗ヒ坐ニ焙リ煎ユ

棘刺花 クリノ花

仙人杖 タケムノクヘヨリノ事也

柳花 シタヤナキ也

白楊 ツラヤナキ也赤莖ヤナキ

柘櫟 カヤナキ也

黃柳 ツネ也

人部

靈天蓋 シヤカクノ事ナリ

頭垢 カミクワカクテ

亂髮 カミノヲキ也

鳥獸部

狻猊 イノシ、也

羊脛骨 ヒツジノ骨ナリ醋ヲ

スリ土器ニ焼

白膠 一名八鹿角膠鹿ノ角ヲ煮

テニカワト作ト

雞脂脰 ニハトリノモク

白鴝 アヒルノ事也

啄木鳥 ツクムシ

雁肪 カリノアツラ也

蟲部

水蛭 一名八蛭一名至常和名ル本

草 ニ云大十生ノ長尺コトヲ馬蛭

ト名ク又馬蛭トモ名ク尺小ナル者

ヲ用テ大ニ効アリ六月ニ採テ暴シ

乾カス又用止白米ニ浸ス一夜ソ

炙リ乾シ使フ又云此物死カ多ク炎

蟻 和名トクノ製法ハ鹽水ニ浸

焙リ乾シ研末シ用

六陳

假毒其藥半身補皮換實麻黃
右此六種如荷三陳子用丁三藥
性強之毒アル故也

八新

紫蘇薄荷菊花赤小豆槐華
澤蘭款冬花

右此八種了多まう用陳キラ懸

事十九

十八反

芍藥苦參人參沙參玄參細辛與
藜蘆

身及自飲半身瓜蒌貝母與烏頭
大戟芫花海藻甘遂與甘草

右是十八反ト無ス誤リ用事十九

銅鐵之忌

龍膽 茜根 五味子

枯樓 麻黃 芍藥 知母

牡丹 藜蘆 商陸 香附子

槐花 皂莢 雷丸 猪苓

茯苓 薯蕷 陳子 桑白皮

桑葚 石榴皮 桑寄生

已上二十三種ハ鐵氣ヲイム

地黄 玄參 益母草 肉豆蔻

已上四種ハ銅鐵ヲ忌ム

辰砂雄黃 已上二種ハ銅ガリヲ忌ム

右銅鐵ヲ忌ム藥也アヤニリオカ

ス事十九

火ヲ息ム藥

青黛	犀角	茵陳	羚羊角
茜根	柴胡	木香	雲母
芒消	鐘乳	朴硝	禹餘糧
滑石	雄黃	麝香	川芎
藍葉	乳香	甘草	桂心
丁香	白檀	藿香	香白芷
檳榔	麝香	牛黃	薄荷
紫草	沉香	胡椒	薰陸香

右火ヲイム藥也

雷公藥性論炮製

煨 火ノ上ニシテニワタルホトヤク也
 燻 ヲク也

炮 ナミニツクミテ上ヲヌラメアツル也

炙 乾ナドニテ火ニ近クアフル也

焙 アフリコニ入テアフル也

煨 アツ灰ノ上ニテコホカス也

爆 火ノ上ニテハレラカシテ使フ

炒 アカ子ノウス物ナトニテイル事也

煉 子ル事也

熬 煎シカハカス也

伏 灰ニシテアツテテ難ノカイゴノアタニホトシ云也

露 夜ルサラスヲ云也

敷 日ニセラスヲ云也

暴 サラス事也

飛 研キテ水ニスリタテテイサセテ使ツナリ

ナリ

製

キヤウジツ薑汁ミツ蜜水ニ鹽水ニ酢ニトニ浸ス

コレニユル事也

此和名集并異名製劑記之板
本近代徃々雖在之其誤敏多
也故今銷謬改字證令開板畢
尤可為正本者也

于時慶安元戊子歲仲夏吉辰

二条下寺町弥兵衛判行